

病院の概要

- **病床数** 340床
- **医師数（研修医を除く）** 54名（うち指導医数 15名）
- **診療科** 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科
神経内科 外科 消化器外科
乳腺・内分泌外科 整形外科 脳神経外科
アレルギー科 リウマチ科 小児科 泌尿器科
耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科
病理診断科 麻酔科
- **1日平均外来患者数** 248名
- **1日平均入院患者数** 246名
- **主な認定施設** 地域医療支援病院、
日本内科学会認定制度教育関連病院、外科医専門医制度修練施設、日本脳卒中学会研修教育病院、
日本整形外科学会認定専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定病院、等

**研修プログラムの特色**

当センターの初期臨床研修プログラム理念は深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリケア能力を修得するための医師養成を目指します。

当センターは多様な疾患を経験できます。それは年間入院患者数6千人以上、2次救急外来患者数は約5千人と幅広い豊富な患者数に支えられているからです。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。

特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色の基に、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム 例 ▶ **さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員2人）**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急			外科		
2年目▶	小児科		精神科		地域医療		選択必修			選択		

内科、救急、小児科、外科、精神科、地域医療は必修。泌尿器科、産科、整形外科、脳外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科は選択必修科目としこの中から3科3か月以上を選択。産科は協力型研修病院である自治医科大学附属さいたま医療センターにて行います。選択：その他の選択（4か月）は研修医の希望により、検査手技の習得や他の診療科の研修を目的として、自由に選択できます。

研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：34.7万円/月 賞与76万円/年
2年次：36.3万円/月 賞与152万円/年（実績）
- 諸手当▶ 時間外手当
- 保 険▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当 直▶ あり（4回/月）
- 休 暇▶ 夏季・年末年始休暇・年次有給休暇有（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿 舎▶ あり
- その他▶ 医師賠償責任保険病院負担、健康診断（年2回）、学会参加費用支給（年2回）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・自治医科大学さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・南魚沼市民病院

当院のキーワード

研修医の1日のタイムスケジュール

7:30/病院到着
 8:00/内科 朝カンファレンス
 9:00/病棟業務/救急当番
 (水：石田副院長による心エコー指導)
 12:00/職員食堂にて昼食
 13:00/病棟業務/救急当番/心臓カテーテル検査など
 (土：16:30/journal club)
 (月：17:00/内科カンファレンス)



朝カンファレンス：前日から当直帯までの内科入院患者を内科全員で確認します。研修医にとってプレゼンの練習となる絶好の機会であると同時に、循環器、消化器、呼吸器など各専門医の先生方からのフィードバックがあり大変勉強になります。

救急当番：月～土の日中の救急対応(救急搬送、walk in)を担当します。3年目以上の上級医と組むため、方針に悩んだときにはすぐに相談できます。

研修責任者から

さいたま市民医療センターは地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域医療支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、昨年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。



救急総合診療科科長
坪井 謙

「病氣」、「こども」、「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を養成できるプログラムを組んでいます。

また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。

こんな病院で一緒に働いてみませんか？

先輩研修医から

当院の特徴はなんといっても各診療科間の垣根が低いこと。医局がひとつのため、他科の先生方ともすぐに顔の見える関係でのコンサルトが可能です。内科に限って言えば総合チーム、循環器チーム、消化器チームといったように分かれてはいるものの内科全員が集まる機会が多々あり、非常に相談しやすい環境にあります。



研修医1年目(自治さいたま研修医)
瀬戸 那由太

市中病院としてcommonな疾患はもちろんですが、地域のクリニックなどから紹介されてくる診断のついていない症例まで様々な疾患を経験できることも魅力の一つだと思います。また、コメディカルとの距離も近いのも特徴であり、チーム医療体制が整った病院でもあると感じます。初期研修の2年間は医師としての姿勢や考え方の基礎を学ぶ最も大切な期間だと思いますが、この規模の教育病院だからこそできる丁寧で綿密な指導があり、総合診療医志望の私は大変充実した時間を過ごさせて頂いています。

女性医師支援コーナー

- ・週4日勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

連絡先

社会医療法人 さいたま市民医療センター

総務課

〒331-0054 さいたま市西区島根299-1

TEL 048-626-0011(代表) FAX 048-799-5146

E-mail soumu@scmc.or.jp

URL http://www.scmc.or.jp/

アクセス JR大宮駅からバスで20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学随時受付

左記の連絡先へEメール、TELにてお問い合わせください。